

DV被害者の理解

～心身の暴力がDV被害者・子どもにもたらすもの～



2018年3月 東京都目黒区の結愛ちゃん、2019年1月 千葉県野田市の心愛ちゃんの死亡事件で、児童虐待の背後には多くの場合DVがあり両者は一体として把握し支援が必要であることが明確になりました。今年DV法改正が成立し、DV支援と法改正に深く関わっておられる戒能民江氏を講師にお招きして、法改正のポイントを踏まえて、DV被害者への支援が進められるようにDV被害者の理解とDVの子どもへの影響について学びます。講座の終了後には講師を囲んで参加者の交流会も予定しています。ご参加をお待ちしています。

テーマ

DV被害者の理解 ～心身の暴力がDV被害者・子どもにもたらすもの～

講師

戒能 民江氏 (お茶の水女子大学 名誉教授)

戒能先生は、性暴力禁止法を作ろうネットワーク共同代表、女性と人権全国ネットワーク共同代表、被害者のためのDV法を求める全国連絡会共同世話人などの多くの活動と、1992年「夫(恋人)からの暴力」調査研究会メンバーとして日本で初めてのDV実態調査を実施されるなど、DVをはじめ困難を抱える女性の支援現場の実態を踏まえ法整備を進めてこられました。専門はジェンダー法学。2002年山川菊栄賞、06年平塚らいてう賞受賞。著書は『ドメスティック・バイオレンス』不磨書房.2002、『危機をのりこえる女たち』(編著)、『婦人保護事業から女性支援法へ』(共著)など多数。

開催日時

会場開催日時：2023年10月21日(土)14時～16時(会場参加者はオンデマンド配信も視聴可)
オンデマンド配信期間：2023年11月1日(水)11時～12月1日(金)11時

開催会場

エル・おおさか7階709 〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14 TEL:06-6942-0001

対象者
定員

子どもと保護者に関わる支援者・専門職 定員：会場参加50名 オンデマンド配信参加100名

受講料

APCA正会員：無料 賛助会員・非会員：2,000円(会場参加・オンデマンド配信 共通料金)

申込受付
期間

2023年9月11日(月)11時～10月13日(金)11時
※オンデマンド配信申込は10月30日まで(定員になり次第締め切ります)

申込
方法

受講をご希望の方は、右上のQRコードの読み込み又はURLで**申込サイト『Peatix』**から申し込んでください。ホームページ<https://www.apca.jp>からも同じ方法で申し込みます。組織や公費での受講も受付けています。ご不明な点は、下記【APCA】までお気軽にお問い合わせください。

録画オンデマンド配信参加

URL
<https://180ca-rokuga.peatix.com>

Peatix
QRコード



会場参加
Peatix
QRコード

URL
<https://180ca-eruosaka.peatix.com/>

オンデマンド
配信も視聴で
きます



主催：認定NPO法人 児童虐待防止協会【APCA】

電話：06-6646-4858 FAX：06-6646-4884

Email：manabi-i0189@apca.jp

「DV対応の現状と体制及び施策の展開」子どもの虹情報研修センター 紀要No17(2019)より



子ども虐待を
うみださない社会を目指して・・・

国際的に見てもDVの子どもへの影響を重視しており、DVは子ども虐待と一体とされている。(戒能先)

児童虐待防止法には「DVの目撃」(面前DV)が心理的虐待として規定されており(2条4項)、令和3年度 児童相談所での児童虐待対応件数に占める心理的虐待の割合が最も多く、124,722件で全体の60.1%をしめている。

DVは古くから存在しながら、家庭内や恋人間の個人的な紛争として公的な介入や支援が難しい状況が続いている。

野田市事件であぶり出されたDV理解の問題点は、第一に、DVとは何かについて十分理解されていないことである。国際社会でのDVの一般的定義は「親密な関係における暴力による相手の支配・コントロール」である。第二に、DVの暴力による「支配」という本質とDVの特徴についての理解が不十分である。第三に、DVの影響の深刻さが十分に理解されていないことである。

DVは暴力を手段とした相手の支配・コントロールであるが、配偶者や交際相手だけではなく、しばしば、加害者の支配とコントロールは子どもを含めた家族構成員へと向けられる。

近年明らかにされてきたのが、DVの精神的健康への影響の深刻さである。

2002年の精神科医を中心とした研究(厚生労働科学研究(2002)「DV被害者における精神保健と回復のための援助の研究」研究代表小西聖子)によると、

- ①DVでは身体的、精神的、性的暴力が総合的に生じ、長期にわたる被害が大部分を占めること、また被害の重さがPTSD(外傷後ストレス障害)と関連があること
- ②DV被害者には高頻度でPTSDやうつ病が見られること
- ③DVの子どもへの影響が大きいこと、児童虐待と並存する可能性が高いこと、などが明らかにされている。

【第181回 CA研のご案内】 連続講座 その2

2023年度のCA研は、子どもの心理的虐待とDVについてシリーズで取り上げています。ぜひ引き続きご参加下さい。

テーマ「DV被害者と子どもの支援」

～女性支援と子ども支援の連携を深めるために～

講師：戒能民江氏(お茶の水女子大学名誉教授 法学者)

日時：2023年11月18日(土) 14時～16時

(オンデマンド配信も行います)

場所：エル・おおさか 708

対象者・定員・受講料：第180回CA研と同じ

申し込み方法：ホームページをご覧ください。

<https://www.apca.jp>

APCA
ホームページ
QRコード



APCA
Child Abuse研究会
(CA研)について

児童虐待防止協会(APCA)の研修は、子ども虐待を生み出さない社会を目指して、子ども虐待に関わる多様な専門職・支援者が、所属機関や職種の立場を超えて、互いに学びあう場、つながりあう場となることを目的に開催しています。Child Abuse研究会(CA研)は、1990年の本協会設立以前から、子どもの虐待に関わるその時々課題を学びあい、新たな取り組みを共有し、課題の改善に向けて定期的に開催しています。

主催：認定NPO法人 児童虐待防止協会【APCA】

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-14-10 松竹ビル6階C号室

電話：06-6646-4858 FAX：06-6646-4884 Email：manabi-i0189@apca.jp

APCA=The Association for
the Prevention of Child Abuse
& Neglect